



まちづくり協議会の上半期の活動を総括する部会交流会・懇親会を開催しました。当日は各部会のメンバーがそれぞれ違うテーブルに着き、交流を深めました。「和坂校区私は〇〇です。〇〇自治会・・・実は私は〇〇です。」という自己紹介をしながら懇親を深めることができました。会のメインは各部の取り組み報告でした。まち協としては、大きな取り組みとして「納涼祭」「敬老会」を無事に終わることができました。2019年新春の「左義長」に向けて準備中です。



茶谷会長挨拶



各テーブルの交流風景



部会発表は各部持ち時間 8 分で取り組みの概要を報告しました。環境・衛生部からはポイ捨て防止、ごみマナーの改善、校区緑化の取り組み、今後はゴミステーションの点検などが報告されました。生活・安全部では、振り込め詐欺防止、自転車安全運転講習会、校区防災訓練の実施報告、今後は校区ハザードマップの作成や年末特別警戒の実施について報告されました。健康・福祉部からは、「校区敬老会」の報告や住民健康診断の実施予定や健康ハイキングの実施予定について報告されました。広報部では、HP の紹介を実際の画面を投影しながら行いました。また「わくわくわさか」の発行について報告しました。文化・交流部からは、「納涼祭」の報告、「左義長」に向けての準備について、また「買い物難民」の研究など取り組み課題が示されました。各部の取り組みを確認することができ、後半の各部の活動への理解を深めることができましたと思います。



この部会報告の活動を通して、校区の方が知り合いになり、活動の輪が大きくなることが理想です。合わせて「若い方」の力が今必要とされています。各部の部員を増やすことや若手登用など緊急の課題があることも確認しました。また、事務局より校区の人口減少の実態、高齢者の割合が増加するなど急速に変化していく地域社会への対応がこれからの「まちづくり」の課題であると思われました。



また、これからの地域の取り組みには「地域の若い世代や子どもたち」を巻き込んだ内容も取り入れていくことも必要ではないかと思えます。参加の皆様ご苦労様でした。 (まち協広報部)



自己紹介をしながら交流を深めました。地域にいろんな方がおられることを知ることができてよかったです。町で出会っても挨拶ができるようになります。効果大です